

日本電気株式会社 一宮 隆祐



JNSA 会員の皆様、はじめまして。JNSA Press 第28号の会員紹介記事を執筆された、塩見様からご紹介を頂きました日本電気株式会社 一宮 隆祐（イチミヤ リュウスケ）と申します。

会員紹介ということですが、あまり高尚なことは書けませんので、自己紹介を中心にJNSAとの関わりについてもご紹介させていただきます。

私は入社してから現在までの4年間、情報セキュリティに関するマーケット調査や商品企画に携わっております。私自身、学生時代からセキュリティについて明るかったわけではなく、セキュリティと言えばウイルス(?)といったレベルの初心者からのスタートでした。ですので、日々の業務の一つ一つが勉強であり、ようやくセキュリティの重要性とその難しさについて理解できてきたところです。

また趣味は野球で、週末は草野球チームのメンバーと練習や試合をしています。チーム設立時のメンバーはSNSで募り、当初は顔も名前も知らない、年齢も実力もバラバラという珍しいチームです。設立から3年が経ち、今では大会に参加し勝てるようになってきました。見ず知らずの人が集まって、すぐに野球チームが作れる。技術が進歩し、便利な世の中になりました。このような便利な技術を安心して使えるのは、決して表にでなくてもセキュリティ技術の活躍があってこそものだと思います。

JNSA の活動には、入社して1年目の時に当時の先輩からの紹介でU40（アンダーフォーティ）部会に参加したことが始まりです。発足して間もない頃から参加したこともあり、U40 部会の中では割と古株にあたります。まだまだ経験不足の私にとって、U40 部会での社外の方々との情報交換や人脈形成、普段の業務の中では聞くことのできない勉強会は貴重な経験となっています。

加えて、今年からはラボネット WG のリーダーを務めさせていただくことになりました。こちらも初心者からのスタートとなりますが、また新しい経験を積み、普段の業務にも活かしていけたらと考えています。

今後も JNSA 会員の皆様、JNSA Press をご覧の皆様と共に活動を盛り上げていけたらと考えております。また、お近くの若いメンバーに U40 部会のご紹介をして頂ければ甚幸です。セキュリティ初心者の方も、経験の少ない若手の方も、勉強会などから是非お気軽に参加して頂けたらと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

## NEC ネクサソリューションズ株式会社 中西 克彦



皆様、はじめまして。NEC ネクサソリューションズ株式会社 技術開発事業部の中西と申します。

前号の JNSA Press で会員紹介記事を執筆された富士通 佳山さんからご紹介いただきました。

私が業務としてセキュリティに関わるようになったきっかけは、2001年9月に大流行した Nimda でした。一度 LAN 内に入り込んだワームが瞬く間に拡散していく様は、初めての体験で衝撃的だったのを覚えています。

当時はアウトソーシング系の部署に在籍していたのですが、お客様のサーバをお預かりするにあたって、弊社にはセキュリティ上の一定の基準がありました。とくに外部公開される Web サーバに対しては一段高いレベルの運用が求められていました。Nimda のような脅威から Web サーバを保護するためのソフトウェアを開発し、そのレベルを維持するサービスを始めよう。というのがセキュリティに関わった最初の仕事です。そのサービスは外部のお客様にも「WAF」としてご利用いただくようになり、現在もその製品の開発 / 保守の仕事を継続しています。

JNSA における最初の活動は、セキュアシステム開発ガイドライン策定 WG です。この WG の成果物は「システムオーナーが、RFP に記載すべきセキュリティ要件のガイドライン」を策定するというもの。その頃、弊社のお客様も Web の脅威に対する認識不足や具体的な対策手法を盛り込まないまま開発が進んでしまうのが現状で、対策が必要なのに投資を決断いただけないお客様に歯がゆい思いをしていました。最初は、競合企業の方々と腹を割って情報交換できるのか、特定の企業や商材に有利な内容に誘導されるのではないかといったイメージを持っていたのですが、オープンに議論できる自由な雰囲気や目先の利益よりも市場全体のメリットを優先する姿勢をもった人が多いことに驚いたのを覚えています。

現在は、U40 や ISOG-J の活動を中心に日々勉強させていただいておりますが JNSA に参加して一番の収穫は、活動を通じて多くの人々との接点を得たことです。一線で活躍するエンジニアの生の声は、書籍やサイトのコラムだけでは得られない刺激があります。それから何といても飲み会が楽しい。業界仲間で休日に BBQ 等に行く機会も増えました。飲み過ぎて痺れてしまっても、秘密保持がしっかりできる人々が揃っていてセキュリティレベルが高いところは安心です。

JNSA に期待することは、対策できている所とできていない所、二極化している現状のセキュリティ対策について中立的な立場でメッセージを発信することです。セキュリティ業界はもちろんのこと、セキュリティ対策が行き届かない多くのお客様（特に経営層）に対して JNSA を活用して、情報を発信し働きかけていくお手伝いができればと思っています。